

# 令和元年度指定管理者運営状況検証シート

県所管課 保健福祉部生きがい推進局長寿介護課

令和2年3月31日現在


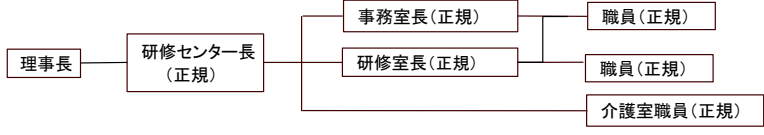
## 1. 施設名等

施設名 (設置年月日)	愛媛県在宅介護研修センター (平成16年4月1日)	所在地 電話 HP	愛媛県松山市末町甲9番地1 089-914-0721 https://ehime-zaitakukaigo.com/
----------------	------------------------------	-----------------	--

## 2. 指定管理者

指定管理者名	特定非営利活動法人 愛と心えひめ	指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (5年間)
--------	------------------	------	--------------------------------

## 3. 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	介護を必要とする高齢者を支えるため、その家族、ボランティアなど一般県民に対して、在宅介護に関する研修を行うとともに、介護に関する相談、情報の提供等を行う。	施設の外観 
施設内容	研修室、宿泊室、浴室等	
指定管理者が行う業務	①在宅介護の研修 ②介護に関する相談 ③介護に関する情報の提供 ④介護にかかわる関係団体等との連絡調整 ⑤センターの施設、附属設備等の維持管理 ⑥上記業務に付随する業務	
施設の管理体制		
利用料金等	利用料金制 <input type="checkbox"/> 採用している <input checked="" type="checkbox"/> 採用していない 前年度からの変更 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし (変更ありの場合、その内容) -	
開館日・開館時間	開館日: 年末年始(12/29~1/3)を除く日、開館時間: 午前9時~午後5時	

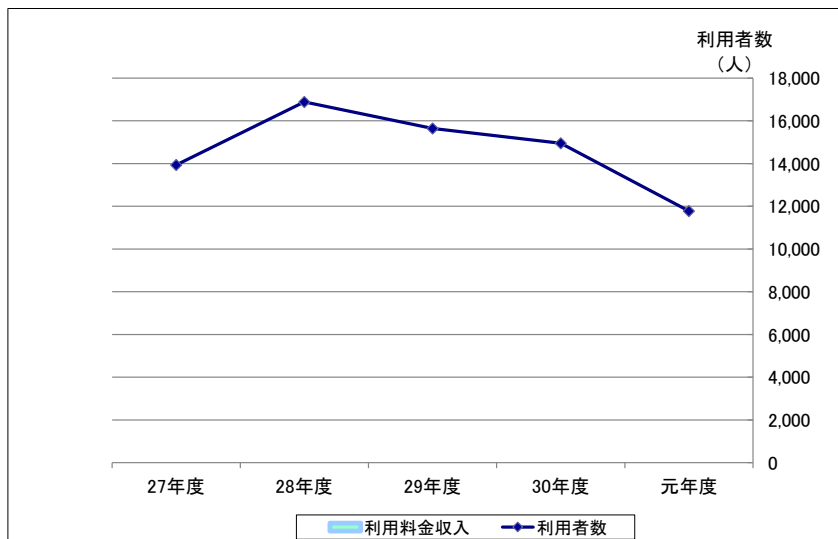
## 4. 指定管理業務に係る県の委託料(協定締結額)

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
県委託料(千円)	44,226	44,226	44,449	44,449	45,965	45,511

## 5. 施設の利用状況

### (1) 施設の利用者数と利用料金収入

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	対前年度増減率
利用者数(人)	13,938	16,886	15,639	14,948	11,780	△ 21.2 %
利用料金収入(千円)	-	-	-	-	-	- %



### (2) 利用者数、利用料金収入の増減理由

対前年度増減率が±5%以上の場合、その理由

#### (利用者数)

令和元年度の研修実績は、新型コロナウイルスの影響で、3月の主催研修が全て中止、出前講座も月初1回のみでその後は中止となったため、ほぼ11ヶ月の実績となる。しかし、月々の利用者数が減少しているため、再度主催研修の項目の見直しと、出前講座でまだ行っていない地域との連携などを図っていきたいと考える。

#### (利用料金収入)

-

## 6. サービスの質向上に向けた取組み

### ア) サービス向上を図る主な取組み

(○は指定管理者制度導入以降、継続的な取組み、☆は令和元年度の新たな取組み、※は利用者からの要望により実施)

令和元年度の内容
<p>○パンフレットの作成・配布及びホームページへの掲載</p> <p>○主催研修チラシ・月別研修一覧表等の作成・配布</p> <p>○研修内容の充実と受講者の満足度向上を図るため、受講者アンケートを実施。</p> <p>○研修用介護福祉用具の充実、介護関連図書・DVD等の貸出し</p> <p>○研修センターへの来所が難しい方達にも受講機会を設けるため、県外講師による主催研修を県下各地で開催</p> <p>○介護に関する「出前講座」及び「施設見学」の強化</p> <p>○熊本地震を受け企画した「災害時における高齢者の生活支援講座」であったが、平成30年度は南予で豪雨災害が起こり、地域に根差した介護ボランティアの必要性をより強く感じながらの研修となった。(平成28年度から継続) &lt;令和元年度実績:主催研修1回・出前講座6回、受講者488名&gt;</p> <p>○少子高齢化の進展に伴い、介護離職が社会問題化するなど、「介護への備え」がますます必要となっていることから、県と協力して「介護力強化セミナー」(働く家族の介護力強化事業)を開催し、現役に働く世代にも積極的に介護への理解を深めていただく取り組みを推進。(平成28年度から継続) &lt;令和元年度実績:講座開催7回、受講者493名&gt;</p> <p>○ホームページの改訂を行い、研修申し込みに対するセキュリティ強化を行うとともに、スマートホン専用のページを新設し利便性を高めた。</p> <p>☆研修センターへの来所者が近年減少傾向となっているため、主催研修を月7回から8回に変更し、研修センター来所者の増加を図る。</p> <p>☆研修センターの来所者・受講者、出前講座の参加者のいずれも、男性3割・女性7割となっている。男性にもっと介護講座の参加を呼び掛けるため「介護版男性専科」と題して、講師も受講生も男性のみで、気軽に参加できるように研修を始めた。</p>

令和2年度の内容(予定含む)
<p>新型コロナウイルスの影響で、3月から5月迄主催研修と出前講座のほとんどが中止となり、実績が大幅に落ち込んでしまった。先行きが見えない中で、今後同様の状況になっても研修センターの機能が発揮できるように、動画配信システムを導入することを計画している。</p> <p><b>動画配信の利点として</b></p> <p>①一堂に会さないので感染のリスクが無い。</p> <p>②定員が無いので、多数が受講できる。</p> <p>③遠隔地からも、交通費及び移動時間を掛けずに研修に参加できる。</p> <p>④決められた研修時間以外の時間で、受講生が各自の都合に合わせて受講できる。</p> <p>また、動画配信のための録画機材の活用として、昨年一新したホームページからリンクさせて、介護ミニ動画コーナーを新設することも企画中である。介護のワンポイントアドバイスとしてシリーズ化し、介護を始める前の準備から段階を踏んで、介護実技までが伝えられるものにしたいたいと考える。</p>

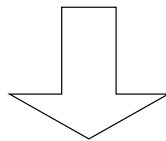
### イ) 利用者からの声への対応状況(令和元年度)

利用者からの評価や苦情・要望の主な内容
<p>評価(研修後の一般受講生のアンケートより抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門職ではないが、受け入れて頂きありがたい。</li> <li>・定員40名ではもったいないと思う。</li> <li>・交通の便が良ければ、度々来て講習を受けたい。</li> <li>・入浴、車いす、介護用ベッド体験など、どれも大変参考になった。</li> <li>・常に新しい情報を届けてもらいたい。</li> <li>・クーラーの効く場所の案内や、荷物入れのカゴなど、受講生の配慮がされていて良かった。</li> <li>・愛媛県で、これほど介護研修が充実しているとは思わなかった。貴重な体験でした。</li> </ul> <p>苦情・要望(研修後の一般受講生のアンケートより抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シャトルバスの運行はどうか?</li> <li>・質疑応答の時間を設けて欲しい。</li> <li>・素晴らしい講座だったので友人にも見せたいが、インターネットで見えるようにならないか。</li> <li>・研修がたくさんあるのに全然知らなかった。もっと身近に感じられるように知らせたい。</li> <li>・県道、国道沿いにセンターの案内標識を見たことが無い。主要道路交差点に設置をお願いしたい。</li> <li>・電動車いすの人が利用できるようにお願いしたい。</li> <li>・スリッパが、使用済みか未使用かが分かるようにしてほしい。</li> </ul>

利用者からの苦情・要望への主な対応状況
<p>「県道、国道沿いにセンターの案内標識を見たことが無い」というご意見に対し、県(中予地方局・建設部)のご協力により、センター前の国道317号線にある標示板に「愛媛県在宅介護研修センター」という表示をして頂いた。</p> <p>「スリッパが、使用済みか未使用かが分かるようにしてほしい」というご意見に対し検討し、新型コロナウイルスの感染予防の観点からも、上履きを持参していただくことへ変更した。</p> <p>「インターネットで見えるようにならないか」というご意見に対し、動画配信をすることで少しは近づくことが出来るのではないかと考える。</p> <p>「もっと、広報活動を積極的にしてほしい」「もっと、センターの存在を宣伝してほしい」等、広報不足に関するご要望が毎年多くある。そこで、令和2年度からは、愛媛CATVの「たうん情報」に研修の案内をさせて頂き、新たな利用者につながっている。</p>

## 7. 令和元年度実績に係る施設の利用状況及びサービスの質向上に向けた取組みに関する確認・検証

指定管理者の自己検証	県の施設所管課の確認・検証意見
<p>この「在宅介護研修センター」は、一般県民が何の備えもなく突然介護に直面する戸惑いを少しでも軽減し、事前に介護を学び、準備が出来るようにするとともに、地域における介護力強化と、互いに支え合える地域づくりに向けて研修を通して情報発信をしていくという目的から作られた。</p> <p>愛媛県が、住み慣れた家(地域)で暮らしていても、介護施設に入居しても、最期まで個人の尊厳が守られ、安心して生きられる県になることを目指したいと思っている。そのためには、介護を他人事(ひとごと)と考えず、自分のこととして学ぶことを伝えていきたいと思う。最期まで人としての尊厳を持った生き方を支えるための介護のあり方を、理論・実技の両面から学び、老いても体に不自由な部分があっても、その人らしく生きることを支えるという、介護本来のあり方を、自分に置き換えて学び、知ってもらいたいと思っている。これは、一般の方々及び介護の仕事を生業としている人たちも、共通に必要なことと考える。</p> <p>「介護よければ終わりよし、終わりよければすべてよし」という言葉が示すように、自宅で暮らしていても、施設で暮らしていても、人としての尊厳を保てる生活があり、それを支える介護に出会えることが、人生の締めくくりには必要不可欠と言える。そのことを目指し、指定管理者としての過去16年の実績を踏まえ、より高度で親しみのある愛媛県在宅介護研修センターの運営を行っていききたいと思っている。</p>	<p>・県内各地において、地域と連携した多彩な講座を積極的に展開し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月の主催研修及び出前講座の中止があったものの、それまでは多くの受講者数を記録しており、令和元年度の取組も評価できる。また、熊本地震を受け企画した「災害時における高齢者への生活支援講座」、センター長による「すぐに役立つ介護講座」シリーズ、男性限定の「介護版男性専科」、現役世代を対象とした「働く家族の介護力強化セミナー」等、地域のニーズに応じた新たな企画は、着実に受講者の満足度の向上につながっている。講座を受講した方が、「地元でも講座を開催して欲しい」「所属団体の講演に来てほしい」「センターに行ってみよう」と、次の出前講座の依頼や見学研修等の来所につながるケースがあり、センターの研修が受講者に高く評価されていることの表れであると考えられる。</p> <p>・利用者のニーズの把握に努め、迅速かつきめ細かな対応がなされている。</p> <p>・受講者アンケートでも好意的意見が多く寄せられ、利用者の満足度は高い。</p> <p>・様々な工夫により経費節減に努めるとともに、施設・設備については、適時・適切なメンテナンスがなされており、安定した運営管理が行われている。</p> <p>・新型コロナウイルス感染拡大をうけ3密回避等の感染防止対策が適切に行われており、今後も継続して実施していただきたい。</p> <p>・今後も老朽化に伴う施設・設備等の修繕について、優先度を見極め計画的な予算執行に努めていただきたい。</p>



## 8. 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

<p>指定管理者は、多彩な研修を積極的に展開し、在宅介護研修センターの利用促進と、利用者の満足度の向上に努めており、高く評価できる。また、利用者の要望に的確に対応するとともに、円滑かつ安定した運営がなされており、施設・設備も適切なメンテナンスにより良好に保たれている。介護の研修の場と実践の場が一体となった研修施設は、他県には例をみないものであり、先進的取組として民生児童委員など県外からの視察が相次いでいることから、全国に誇れる施設として一層の発展を目指していただきたい。また、新型コロナウイルス感染防止対策として計画中の研修の動画配信システムの導入についても、感染リスクの低減を図りつつ、受講の機会を広く設けることで、一層のセンターの利用促進と利用者の満足度の向上に努めていただきたい。</p> <p>今後さらに進展する高齢化を見据えた時、増大する介護給付費を抑制しつつ、高齢者一人ひとりの尊厳を支えるケアを確立するためには、地域全体で助け合い支え合う社会づくりを進める必要があり、在宅介護研修センターの存在価値はますます高くなっている。今後も引き続き、広く一般県民を対象として、生きた介護を学ぶことのできる実践的研修を展開し、本県の介護の質の向上と、地域の介護力強化に努めていただきたい。</p>
---